

砂の美術館第 16 期展示の来館者と経済波及効果について

砂の美術館第 16 期展示「砂で世界旅行・日本」は、令和 7 年 4 月 25 日から令和 8 年 1 月 4 日までの 255 日間開催し、**来館者数は 441,386 人となり、前回から 61,200 人の増加**となりました。

※参考 第 15 期展示（砂で世界旅行・フランス編）来館者数：380,186 人（262 日間）

また、**鳥取砂丘全体の昨年 1 年間の観光入込客数も 1,679,406 人となり、前年（1,496,312 人）から 183,094 人増加し、コロナ前の令和元年（1,652,886 人）も上回る結果**となりました。

※参考 鳥取砂丘の観光入込客数：砂丘カウンター、砂丘リフト、砂の美術館の総数

砂の美術館の来館者アンケートでは、回答者（6,743 人）の 97.5%が砂の美術館の印象は「良い」と高評価をいただくとともに、92.5%を県外者（海外含む）が占め、71.5%の方が宿泊されるなど、地域経済の活性化や観光振興に貢献することができました。

この第 16 期展示の経済波及効果及び宣伝効果については、以下のとおりです。

経済波及効果

125億4千万円

来館者アンケートデータをもとに
鳥取県産業連関表を用いて算出

【参考】第 15 期：113億6千万円（262日）

経済波及効果の内訳

◆直接的経済効果（実際に支出された額）

80億4千万円

※直接的経済効果とは実際に支出された額のことをいいます。

◆間接的経済効果（1 次波及効果と 2 次波及効果に分類）

45億円

第 1 次波及効果 （直接的経済効果分の支出に対して調達した財・サービスの内訳）

29億8千万円

第 2 次波及効果 （1 次波及効果で発生した額が各家計に所得として割り振られ、消費に回された額）

15億2千万円

宣 伝 効 果

2億4千3百万円

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEB等の
広告料を換算し算出

【参考】第 15 期：2億3千8百万円

テレビ（全国版）1 億 2,600 万円（地方版）8,800 万円/ 新聞、雑誌、ラジオ、WEB、その他 2,900 万円

砂の美術館第 16 期展示の傾向と分析

■前回から、外国人観光客が 33%、関西圏発の来館者が 5.5%増加するなど、東アジアを中心とする外国人観光客の獲得や大阪・関西万博の開催が誘客につながったものと分析しています。

※5 月～12 月の来館者が全ての月で前年対比増となるなど、万博による誘客効果を実感。

■バスツアー等の団体客の割合が前回と同じ 11%と低調な結果となりました。

今後は、好調なインバウンド需要や個人旅行者のさらなる獲得に向けた対策を検討する必要があります。